

ようこそ先輩！ ～150周年記念事業 講演会～

第1弾 陸上競技ワークショップ 「新木先輩のように走りたい！」

5月2日（火） 新木 詩乃先生（平成21年度卒業生）

ワークショップは陸上競技の基本である体をほぐす準備体操から始まり、体のバランスを大切に正しい姿勢での走り方を教えていただきました。速く走れることはどの子にとっても「夢」です。子どもたちは真剣なまなざしで速く走るためのコツを学んでいました。中学年と高学年は二人の先生にリレーを挑みました。目の前で見えるダイナミックな走りは子どもたちの憧れになりました。



第2弾 いのちの授業 「生きることは厳しいけれど美しい」

5月29日（月） 寺澤 大祐先生（平成3年度卒業生）



3年生から6年生の児童に、医師を目指したきっかけや現場での経験を話していただきました。

寺澤先生は「一人も死なせないように日々頑張っている」「生きることは厳しいこともあるが、美しいこともある」と話し、当たり前だと思う日々の感謝をすることの大切さを子どもたちに伝えていただきました。会の最後には寺澤さんが小学校1年生の時に自ら編曲した富岡小学校の校歌を伴奏し、児童らの合唱が会場を包みました。

第3弾 科学の授業 「ものづくりを通して何度もやり直す根気強さを」

6月7日（水） 岡田 敏美先生（昭和36年度卒業生）



5・6年生と地域の方に向けた科学の授業では、岡田先生が小学校時代の遊びやものづくりを通して、科学に対する疑問や関心を抱くようになったことを話されました。カミナリの口笛に惹かれて、宇宙の研究が続けられたのは小学校時代の遊びからたくさんのアイデアやヒントを得たからだを教えていただきました。みんなが見上げる星空に思いが届くスケールの大きな講演会でした。これからもいろんな事に挑戦して、最後まであきらめない富小生を目指しましょう。

3人の先輩達から勇気と元気そして、大きな夢を与えていただきました。このように富岡小学校の子ども達はたくさんの素敵な地域の方から支えられています。今後も「どの子も伸びようとしている」富岡の子どもたちのためにご協力をお願いいたします。